

鳴子ダムインフラツーリズム見学ツアー

見学は平日を基本としておりますが、電話等でご相談ください。また、見学コースは1時間程度であればAコース、2時間程度であればBコースが目安となりますが、コース時間ともに事前にご相談ください。なお、ご相談は2週間前までにEメール、電話等で受付しております。



実施日 随時

実施時間

Aコース
操作室→屋上→ダム天端 (1時間)

Bコース
操作室→屋上→七色トンネル→
ダム内部見学→ダム直下 (2時間)

定員

Aコース 25名程度
Bコース 10名以下

受付 2週間前まで

お申込方法

- 1 電話によるお申込み
鳴子ダム管理所：0229-82-2341
- 2 Eメールによるお申込み
必要事項をご記入の上、下記アドレスまで送信ください。
鳴子ダム管理所：thr-naruko01@mlit.go.jp
- 3 FAXによるお申込み
申込書を鳴子ダム管理所のホームページ
(<http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/office/vist/entry.html>) よりダウンロードして送信ください。
FAX：0229-83-3855

ツアーコース

1 ダム天端



春のすだれ放流や初夏の新緑、秋の紅葉、また雪景色など渓谷のダムである鳴子ダムは周囲の山々と荒雄湖が様々な景色を見せてくれます。

2 管理所テラス・展示室 (管理所 1F)



鳴子ダム建設の歴史や鳴子ダムの役割を、学ぶことができます。また、テラスでは望遠鏡で水鳥や猛禽などの観察や山々の自然をのぞくことができます。

3 ダム操作室 (管理所 2F)



ダムに設置されている監視カメラの操作やダムの目や耳となる観測設備の勉強ができます。また、映像施設ですだれ放流の動画や虹色トンネルの動画などを見ることができます。

全国のインフラツーリズムの取り組み

国土交通省では、鳴子ダム以外にも全国のインフラ施設の内部見学や工事現場の見学を、より魅力的にするための先進的な取り組みを展開しています。

詳しくは「インフラツーリズム ポータルサイト」… で

ハッ場ダム

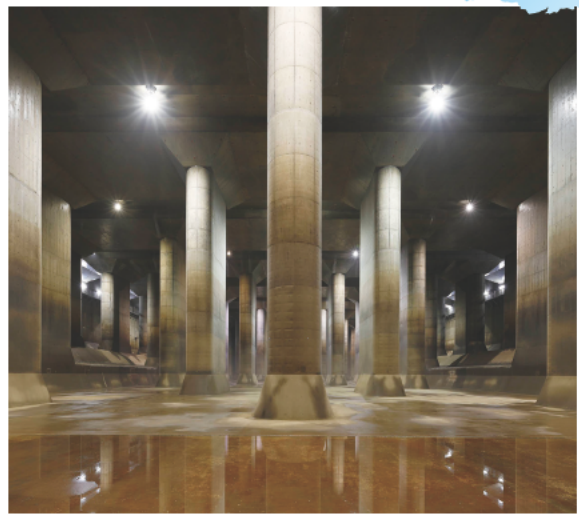
群馬



2020年4月から運用を開始した最新のダム。今後水陸両用バス、観光船、カヌーやSUPなどを予定。
(お問い合わせ先)
長野原町役場：0279-82-2244

首都圏外郭放水路

埼玉



巨大な「防災地下神殿」の内部を3つのコースで見学。

(お問い合わせ先)
首都圏外郭放水路見学会受付：048-747-0281

明石海峡大橋

兵庫



世界最長の吊り橋を高さ300メートルの主塔の上から体感。

(お問い合わせ先)
ブリッジワールド事務局：078-784-3396

湯西川ダム 水陸両用バス

栃木



窓の無いバスでダム湖へ直接ダイブして遊覧、ダムの内部も見学。

(お問い合わせ先)
湯西川ダックツアー：0288-78-0345



魅力 倍增 プロ ジ ェ ク ト

宮城 県 大 崎 市 「 鳴 子 ダ ム 」



旧有能館おまび庭園
写真提供：大崎市教育委員会



地獄谷の紫地獄
写真提供：鳴子ダム管理所



荒瀬湖畔公園
写真提供：鳴子ダム管理所



鳴子お返し
写真提供：宮城県観光課



紅葉の鳴子峡
写真提供：宮城県観光課



インフラツーリズムによる新しい宮城観光の活性化



インフラツーリズムとは。

インフラツーリズムは、インフラへの理解を深めていただくため、普段訪れることのできないインフラの内部や、今しか見ることのできない日々変化する工事中の風景などの「非日常」を経験するツアーを展開することにより、地域に人を呼び込み、地域が活性化することを目指しています。

日本各地の様々な観光資源をこのインフラ施設とつなげて、新たな観光周遊ルートを造成すべく、私たちはチャレンジを始めています。インフラツーリズムでは、これまでのインフラ施設の見学をより楽しく、わかりやすくすることで、観光資源としての価値を地域の皆様とともに作ってまいります。

この「非日常」を体験するため、インフラツーリズムの世界に足を踏み入れてみませんか？

全国に先がけて始まっています

2021春を目指して
奮闘中!

鳴子ダムでは、「次世代型インフラツーリズム」にチャレンジしています

鳴子ダムは国土交通省の「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」のモデル地区に指定され、全国に先駆けて次世代型インフラツーリズムのあり方を研究しています。まず、ツアーの種類を「団体向け」「個人向け」2つの形態に分類し、同じダム見学を目的別に分類することにより、様々な切り口でお客様をご案内する予定です。

団体向け

- 1 小中学生に向けた教育旅行（社会科見学、修学旅行など）
- 2 旅行会社とタイアップした鳴子ダムインフラツアーの受け入れ
- 3 ダムの建設、治水技術を学ぶテクニカルビジット（技術視察）
- 4 ダムマニア満足ツアー

個人向け

- 1 近隣温泉施設（鳴子温泉郷）の宿泊プランと鳴子ダム見学をパッケージした特別プログラム
- 2 1名からでも受け入れ可能な満足度の高い個人客受け入れツアー
- 3 鳴子ダム荒雄湖パトロール
- 4 点検放流の見学
- 5 水力発電施設や大崎耕土（世界農業遺産）の見学と組み合わせたダムの利水見学ツアー



なるほど！鳴子ダムのこんなこと

Q. なぜ鳴子ダムは造られたの？

A. 大崎平野に広がる江合川は、たびたび洪水を起こし、昭和22年のカスリン台風、昭和23年のアイオン台風では大きな被害をもたらしました。そこで国では、江合川に堤防を造るとともに、治水、かんがい、発電の機能を持った多目的ダムの建設を決めたのです。

Q. アーチ式コンクリートダムって？

A. アーチ式コンクリートダムはアーチ式ダムとも呼ばれます。丸みのあるアーチの形状が持つ力学的特性によって水圧の大部分を兩岸の岩盤に伝えることにより、堤体を薄くすることができます。経済的ですが、水圧に耐えられるだけの岩盤強度が必要となります。



Q. 他にはどんなダムがあるの？

A. 重力式コンクリートダム、ゾーン型ダム、表面遮水型ダムなど、利用目的や構造などにより様々な種類に分類されます。



Q. ダムの高さってどのくらい？

A. 94.5メートルです。30階建てのビルとほぼ同じ高さです。

Q. どのくらいの水を溜められるの？

A. 3,500万立方メートルです。水でいっぱいにしたプール（15メートル×25メートル×深さ1メートル）の約93,000杯分にあたります。

お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
鳴子ダム管理所

〒989-6806 宮城県大崎市鳴子温泉字岩淵2-8
TEL.0229-82-2341 FAX.0229-83-3855

鳴子ダム周辺観光スポット

荒雄湖畔公園

あらおこはんこうえん

緑あふれる湖畔のキャンプ場

鳴子ダムによってできた人造湖・荒雄湖を利用し、周辺の豊かな自然環境を整備、保全した憩いの広場。テニス、キャンプ、バーベキューなど幅広く楽しめます。家族や友達と、アウトドアをのびのびエンジョイしましょう。



荒雄湖畔公園 写真提供：鳴子ダム管理所

問い合わせ先

住所：宮城県大崎市鳴子温泉鬼首
TEL：荒雄湖畔公園管理棟 0229-86-3455

鬼首地獄谷

おにこうべじごくだに

生きずく地球の息吹を感じることができる地獄谷 吹き上げる温泉を間近に見ることができます

吹上沢に沿って温泉が兩岸10数箇所自噴し、湯気が漂う地獄谷。約30分ほどの散策ができる遊歩道が整備されております。紫地獄の近くでは、卵を約10分ほど湯に入れれば、おいしい温泉卵もできます。
※冬期間は積雪に伴い自然閉鎖となります。



地獄谷の紫地獄 写真提供：鳴子ダム管理所

問い合わせ先

住所：宮城県大崎市鳴子温泉鬼首16
TEL：鳴子総合支所地域振興課 0229-82-2111

瀧沼

かたぬま

湖面の色が変わる神秘的湖

約1200年前に爆発してできた瀧沼は日本有数の酸性湖で、天候により湖面の色が変わります。強酸性のため魚は棲んでいません。湖畔は1.3kmほど散策が楽しめ、レストハウスでは貸しボートも有ります。サップ(要予約)も楽しめます。



瀧沼

問い合わせ先

住所：宮城県大崎市鳴子温泉湯元69
TEL：鳴子温泉郷観光案内所 0229-83-3441

紅葉の鳴子峡

こうようのなるこきょう

高さ約100mの渓谷に広がる圧巻の紅葉

東北屈指の景観と言われるほどの自然美「鳴子峡」。その深さは100mに及び大峡谷！この一面が紅葉におおわれます！見晴台や散策道からの景色も美しく、この絶景を一目見ようと、全国から多くの人々が訪れます。



紅葉の鳴子峡 写真提供：宮城県観光課

問い合わせ先

住所：宮城県大崎市鳴子温泉
TEL：鳴子温泉郷観光案内所 0229-83-3441

旧有備館および庭園

きゅうゆうびかんおよびていえん

国指定史跡及び名勝

国指定の史跡及び名勝「旧有備館および庭園」は、岩出山伊達家二代宗敏の隠居所として1677年に建てられ、家臣の子弟を教育する郷学としても使用されました。庭園は、四代村泰が整備したと伝えられ、岩出山城の断崖を借景とし池中に四つの島を配した回遊式池泉庭園です。



旧有備館および庭園 写真提供：大崎市教育委員会

問い合わせ先

住所：宮城県大崎市岩出山上川原町6
TEL：0229-72-1344

日本こけし館

にほんこけしかん

約5000本の伝統こけしを展示

高台の鳴子公園の中にあるこけしの博物館で、こけしの展示を鑑賞できるほか、実演、即売もしています。展示されているこけしは高松宮殿下秘蔵のこけし、深沢コレクション、各産地のこけしなど様々。こけしの絵付けを体験することもできます。



日本こけし館 写真提供：日本こけし館

問い合わせ先

住所：宮城県大崎市鳴子温泉尿前74-2
TEL：0229-83-3600

温泉スポット

鳴子温泉郷

なるこおんせんきょう

旅館ホテルごとにそれぞれ自慢の源泉を持つ いで湯とこけしのふる里 共同浴場の湯めぐりも楽しい

義経伝説が残る古くからの名湯「鳴子温泉」をはじめ5つの温泉郷があります。

旅館ホテルごとに源泉を持ち多彩な泉質と効能が楽しめます。近代的な温泉ホテルから湯治のお宿までライフスタイルに合わせたお宿を選ぶ事ができ、環境省から国民保養温泉地の指定を受けております。

問い合わせ先

住所：宮城県大崎市鳴子温泉湯元2-1
TEL：鳴子温泉郷観光案内所 0229-83-3441



鳴子温泉街 写真提供：宮城県観光課

鳴子温泉街 写真提供：宮城県観光課

鳴子の滝の湯 写真提供：宮城県観光課

国土交通省インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト 公共インフラを活用した新たな観光資源へ



新しい日本の観光提言 宮城観光未来プロジェクト



鬼首地獄谷

生きづく地球の息吹を感じる地獄谷
吹上沢に沿って温泉が両岸10数箇所
自噴し、湯気が漂う地獄谷。約30分
ほどの散策ができる遊歩道が整備さ
れております。

鳴子総合支所地域振興課
☎ 0229-82-2111



荒雄湖畔公園

緑あふれる湖畔のキャンプ場
鳴子ダムによってできた人造湖・荒
雄湖を利用した憩いの広場。

荒雄湖畔公園管理棟
☎ 0229-86-3455



紅葉の鳴子峡

高さ約100mの渓谷に広がる
圧巻の紅葉
この絶景を一目見ようと、全国から
多くの方が訪れます。

鳴子温泉郷観光案内所
☎ 0229-83-3441





日本こけし館 写真提供:日本こけし館

日本こけし館

約5000本の伝統こけしを展示
高台の鳴子公園の中にあるこけしの博物館で、こけしの展示を鑑賞できるほか、実演、即売もしています。

■ 日本こけし館
☎ 0229-83-3600



湯沼

湯沼

湖面の色が変わる神秘的の湖
約1200年前に爆発してできた日本有数の酸性湖で、天候により湖面の色が変わります。

■ 鳴子温泉郷観光案内所
☎ 0229-83-3441



旧有備館および庭園 写真提供:大崎市教育委員会

旧有備館および庭園

国指定史跡及び名勝
岩出山伊達家の隠居所・家臣子弟を教育する郷学として使用された建物。池中に島のある回遊式池泉庭園で、四季を通してその変化を感じられます。

■ 旧有備館および庭園
☎ 0229-72-1344

鳴子ダムができるまで



たくさんの人々の熱い想いが込められ完成しました。

初めて日本人だけで造られたアーチダム

「大丈夫、きっと成功する。」

鳴子ダムの建設が始まった時、工事関係者たちは自分に言い聞かせていました。というのも鳴子ダムの建設は、日本で初めて外国人の技術者を招かずに、日本人だけの手で造ることになったからです。

調査や設計、試験、材料や機械を工事現場まで運ぶための新しい道路の整備など、工事が始まる前に様々な準備が整えられ、ようやく工事が開始されました。

時には地滑りや落石などの事故が起こり、犠牲になった人もいました。それでもみんな「これまで水害にあった人々を救うため、何としてもこのダムを造るんだ」と強い決意で工事を続けたのです。

昭和32年4月5日、人々の熱い想いが実り、鳴子ダムはその雄大な姿を現しました。

ドドーンという音を響かせながら、勢よくダムの底に流れ込んでいく水を見ながら、工事関係者たちは胸が熱くなるのを感じていました。

「やった、ついに完成した！全部、私たち日本人の手で造ったのだ。」

誰もがそう、心の中でつぶやきました。残念ながら完成した姿を見ることなく、思いがけない事故で犠牲になった人へのしのびながら、青々とした水がダムの底から徐々にたまっていく様子を見て、大きな感動がこみ上げてきたのです。

鳴子ダムが完成したことによって、鳴子はもちろん、その下流の岩出山や古川など江合川沿いの地域は、新しい時代を迎えようとしていました。

「これでやっと、あの恐ろしい水害は無くなる。雨が降っても、洪水の心配をしなくて済むんだ。」町の人々もみんな大喜びで、ダムの完成を祝いました。

ダムによってできた荒雄湖の湖面には、燃えるような紅葉が映り、遊覧船も浮かんでいました。この素晴らしいダムと山々の美しい紅葉を見に、たくさんの観光客が訪れます。鳴子ダムは、鳴子の観光の大きな目玉にもなったのです。

またダムの完成後には、国道108号も整備され、これまで困難だった冬道も車で安全に通れるようになりました。このように鳴子ダムは、地域と地域の間を近づける役目も果たしていきました。

